
● 重点战略 ●

1. 重点戦略の位置付け

序論・基本構想・基本計画との関係性

課題

序論「まちづくりの課題」

- ①誇りを持って住み続けられるまちづくり
- ②地域特性を活かしたにぎわいづくり
- ③住民参加と協働の促進
- ④成田国際空港との共生・共栄

将来像・理念

基本構想「まちづくりの理念・まちの将来像」

理念：協働と創造による 地域力発揮のまちづくり
 将来像：人・自然・文化が奏でる暮らし 夢広がる幸せ実感のまち 横芝光

目標

基本構想「まちづくりの基本目標（施策の大綱）」

6分野+1（構想推進のために）

施策

基本計画

6分野+1にて施策の方向性を記述

重点化する（序論の「課題」を踏まえた4つの戦略）

戦略

基本計画「重点戦略」

- ①『このまちで暮らす』移住・定住を促すまちづくり戦略
- ②『このまちがにぎわう』産業振興と交流を促すまちづくり戦略
- ③『このまちを共に創る』協働と創造を促すまちづくり戦略
- ④『このまちが成田国際空港と共に栄える』空港と共生・共栄するまちづくり戦略

重点戦略



2. 重点戦略

(1) 『このまちで暮らす』 移住・定住を促すまちづくり戦略

わが国は人口減少の局面にあり、県内においても、人口減少が顕著となりつつある市町村があります。本町も例外ではなく、2015（平成 27）年人口 23,762 人は、第 2 次総合計画の目標年次である 2025 年には 21,600 人程度となるものと推計されます。

人口の減少は、産業の担い手不足、子どもの教育環境の変化など、様々な影響を及ぼすものと考えられるため、町の情報を町内外に発信し、人口減少を抑制して本町の活力維持・向上を図るとともに、地域のきずな、人と人とのつながり、助け合いなどを受け継いでいくためにも、町を挙げた移住・定住促進対策に努めます。

このため、気候の穏やかさや自然の豊かさといった「暮らしやすさ」と、成田国際空港や首都圏中央連絡自動車道（圏央道）による「便利さ」を最大限に活かしながら、①子育て・教育など子どもを産み育てる環境づくりを全力でサポートする②地域の魅力を高め積極的に情報発信していくことにより、住んでみたい・住み続けたい、魅力あるまちをつくっていきます。



①子育て・教育全力サポートのまちづくり

【関連する基本施策】

| | |
|---------------------|----------------|
| 第1章 -1. 子育て支援 - 施策1 | 地域での子育て支援体制づくり |
| 第1章 -1. 子育て支援 - 施策2 | 保育サービスの充実 |
| 第1章 -1. 子育て支援 - 施策3 | 子どもの居場所の確保 |
| 第1章 -1. 子育て支援 - 施策4 | 健全な親と子の育成 |
| 第2章 -1. 学校教育 - 施策1 | 教育内容の充実 |
| 第2章 -1. 学校教育 - 施策2 | 学校運営の充実 |
| 第2章 -1. 学校教育 - 施策3 | 教育環境の整備 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|---------------|-----------------|
| ◎子育て支援サービスの充実 | ◎保育所(園)環境の整備 |
| ◎児童クラブの充実 | ◎子ども医療費助成 |
| ◎母子保健の充実 | ◎学習状況を踏まえた学力の向上 |
| ◎キャリア教育の推進 | ◎信頼される学校運営体制の構築 |
| ◎安心できる教育環境の維持 | |

②魅力の向上と移住・定住を促すまちづくり

【関連する基本施策】

| | |
|----------------------|------------------|
| 第2章 -3. 生涯学習 - 施策2 | 図書館機能の充実 |
| 第2章 -4. 文化振興 - 施策2 | 芸術・文化活動の振興 |
| 第2章 -5. スポーツ振興 - 施策1 | スポーツ・レクリエーションの振興 |
| 第5章 -5. 移住・定住 - 施策1 | 受け入れ体制の整備 |
| 第5章 -5. 移住・定住 - 施策2 | 積極的な町の魅力発信 |
| 第5章 -5. 移住・定住 - 施策3 | 若者の定住・定着の促進 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|-----------------------------|--------------------|
| ◎地域の情報発信と交流拠点機能の充実 (図書館) | ◎文化鑑賞機会の充実 |
| ◎各種団体の大会運営への支援 (スポーツ振興) | ◎移住・定住にかかる相談体制の充実 |
| ◎横芝光町プロモーションの推進 | ◎子育て世代に特化した広報活動 |
| | ◎拠点大学等と連携した若者の定着促進 |



(2) 『このまちがにぎわう』 産業振興と交流を促すまちづくり戦略

産業は、まちづくりの原動力を生み出す源となるだけでなく、就労の場、さらには仕事を通じた自己実現の場として、重要な役割を担っています。

本町では、進学・就職を契機とした若者の転出が続いています。若者にとって魅力ある就労の場づくりを通じて、人口減少を抑制し、同時に産業の担い手を確保するためにも、地域資源を活かし、若手経営者などの人材育成、農畜産物の高付加価値化などを通じた収益性の向上などにより、産業振興を図ります。併せて、国・県・成田国際空港株式会社・空港周辺市町などとの密接な連携の下、立地特性を活かした多様な就労の場づくりに努めます。

また、本町には緑豊かな丘陵、栗山川や坂田池、九十九里浜、中台梯子獅子舞、祇園祭、鬼来迎などの自然的・文化的資源があり、観光振興・交流促進に活用できる可能性も有しています。このため、横芝光町観光まちづくり協会をはじめ、大学、町内外の企業・NPOなど多様な主体の活動を支援しながら、交流促進などを図ります。併せて、横芝駅前情報交流館を有効に活用しつつ、①立地特性を活かした農業をはじめとする魅力的な就労の場づくりを進める②地域資源を最大限に活かしつつ交流と観光の振興を図っていくことにより、人と経済が元気で魅力あるまちをつくっていきます。



①立地特性を活かした魅力的な就労の場づくり

【関連する基本施策】

| | |
|---------------------|----------------|
| 第5章 -1. 農林水産業 - 施策3 | 生産振興と経営支援 |
| 第5章 -1. 農林水産業 - 施策4 | 地域資源の活用と環境との共生 |
| 第5章 -3. 商工業 - 施策2 | 新たな商業活動の促進 |
| 第5章 -3. 商工業 - 施策4 | 企業立地の促進 |
| 第5章 -4. 産業活性化 - 施策1 | 新たな事業展開や起業の促進 |
| 第5章 -4. 産業活性化 - 施策2 | 就業・雇用の促進 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|-------------------------|---------------|
| ◎経営体、担い手の育成 | ◎新産地づくりの推進 |
| ◎空き家農家活用の検討 | ◎地域ブランドづくりの支援 |
| ◎町内産業に関する情報の発信 | ◎企業誘致の推進 |
| ◎起業や事業承継等を契機とした第二創業への支援 | ◎就労情報の提供 |

②地域資源を最大限に活かした人の流れづくり

【関連する基本施策】

| | |
|-------------------------|---------------|
| 第2章 -5. スポーツ振興 - 施策2 | スポーツを通じた健康づくり |
| 第3章 -7. 河川・海岸整備 - 施策1 | 栗山川の保全・活用 |
| 第5章 -2. 観光・交流 - 施策1 | 観光基盤の充実 |
| 第5章 -2. 観光・交流 - 施策2 | 観光資源の活用・開発 |
| 第6章 -3. 国際交流 - 施策2 | 国際交流活動の推進 |
| 構想推進のために -4. 広域連携 - 施策1 | 広域連携の推進 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|------------------|----------------|
| ◎スポーツを通じた交流事業の実施 | ◎栗山川情報の発信 |
| ◎観光情報の発信機能の強化 | ◎駅前情報交流館の有効活用 |
| ◎ニューツーリズムの振興 | ◎民間交流の促進（国際交流） |
| ◎戦略的な連携事業の実施 | |



(3) 『このまちを共に創る』協働と創造を促すまちづくり戦略

住民と行政が共通の目標に向かい、役割分担しながら互いに協力し合う「協働」のまちづくりは、近年、地域の課題解決に不可欠な理念とされ、全国各地で様々な取組が展開されています。

本町では、第1次総合計画の将来像に「協働のまちづくり」を位置付け、住民と行政が協力し合いながら、まちづくりに取り組んできました。今後、人口減少と少子高齢化が進む中、これまで「協働」を担ってきた自治会をはじめ、地域の各種団体の活動も担い手不足などにより厳しさを増すものと思われます。

本町には、地域の課題解決に向け主体的に取り組むボランティア団体なども見られます。また、地方創生の取組を契機として住民のみならず、このまちをより良くしたいと願う団体、企業、大学、NPOなどの活動も活性化し、大きな力となりつつあります。このため、これらの多様な活動主体と行政、あるいは活動主体同士が互いに力を合わせ、新たな価値を地域にもたらす「協働と創造」のまちづくりを柱に、①多様な主体の活動を活性化する②自立的行財政マネジメントによる効率的で効果的な施策・事業を展開していくことにより、このまちを共に創る基盤をつくっていきます。



①参加と連携による協働のまちづくり

【関連する基本施策】

| | |
|--------------------------|--------------------|
| 第1章 -4. 地域福祉 - 施策 2 | 地域福祉体制の充実 |
| 第2章 -2. 青少年育成 - 施策 1 | 青少年の健全育成 |
| 第3章 -7. 河川・海岸整備 - 施策 1 | 栗山川の保全・活用 |
| 第4章 -1. 防災 - 施策 1 | 地域防災体制の強化 |
| 第4章 -2. 消防・救急 - 施策 1 | 消防機能の向上 |
| 第6章 -2. 男女共同参画 - 施策 2 | 男女共同参画のための仕組みづくり |
| 第6章 -4. コミュニティ - 施策 1 | 地域活動の維持・活性化 |
| 第6章 -4. コミュニティ - 施策 2 | 自主的な活動の創出支援 |
| 構想推進のために -1. 住民参加 - 施策 2 | 住民参加と協働のまちづくり活動の推進 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|---------------------------|-------------------|
| ◎ボランティア活動の強化と促進 (地域福祉) | ◎青少年リーダーの育成 |
| ◎環境ボランティアの育成・拡大 | ◎防災訓練の実施、防災意識の普及 |
| ◎自主防災組織の育成 | ◎消防団の人員確保 |
| ◎女性が活躍できる環境づくり | ◎人材育成の支援(コミュニティ) |
| ◎自主的な活動を行う組織の育成 | ◎住民参加、協働のまちづくりの推進 |

②効率的で効果的な行財政運営の確立

【関連する基本施策】

| | |
|--------------------------|---------------|
| 構想推進のために -1. 住民参加 - 施策 1 | 広報広聴の充実 |
| 構想推進のために -2. 行政運営 - 施策 2 | 人材・組織の質の向上 |
| 構想推進のために -2. 行政運営 - 施策 3 | 総合的・計画的な行政の推進 |
| 構想推進のために -3. 財政運営 - 施策 1 | 効率的な財政運営 |
| 構想推進のために -3. 財政運営 - 施策 2 | 財政構造の転換への取組 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|----------------------|------------|
| ◎広聴活動、情報交流の推進 | ◎職員研修の充実 |
| ◎総合計画の進行管理と評価システムの連携 | ◎財政計画の策定 |
| ◎公共施設の見直し | ◎受益者負担の適正化 |



(4) 『このまちが成田国際空港と共に栄える』 空港と共生・共栄するまちづくり戦略

成田国際空港は、1978（昭和 53）年の開港以来、わが国の主要な国際空港の一つとして、多大な機能を果たしてきました。今後も、高まる航空需要に応えながら、国の経済成長や地域振興に貢献していくことが期待されています。

現在、国・県・成田国際空港株式会社・空港周辺市町でつくる「成田空港に関する4者協議会」は、発着時間拡大と滑走路の延伸・新設を柱とした空港機能強化案を協議しています。

本町が 2017（平成 29）年度に実施した「成田空港の更なる機能強化」に関する町民アンケートによれば、成田国際空港の更なる機能強化への期待としては「空港周辺対策交付金の増額により、町の財政の手助けとなる」（44.5%）が最多で、次に「空港への就職率向上などにより、雇用の場が増える」（39.6%）、「エアコン設置等の騒音対策が充実される」（37.9%）が多くなっています。その反面「騒音がひどくなる」（83.3%）、「落下物の危険がある」（57.5%）、「安眠が妨げられる」（40.3%）といった心配があることが分かります。また、本町が発展していくためには、騒音対策に加え、高齢者福祉や産業振興、道路交通の利便性向上、子育て・教育環境の整備といった施策が期待されていることも分かります。

このため今後は、騒音対策などを万全に講じながら、①国・県・成田国際空港株式会社・空港周辺市町との連携②成田国際空港との共生を通じた地域の活性化を図り、空港およびその周辺地域が持つ可能性を最大限活用し、魅力あるまちをつくっていきます。



提供：成田国際空港株式会社

①国・県・成田国際空港株式会社・空港周辺市町との連携

【関連する基本施策】

| | |
|-------------------------|-----------------|
| 第1章 -1. 子育て支援 - 施策2 | 保育サービスの充実 |
| 第1章 -5. 保健・医療 - 施策3 | 医療体制の整備 |
| 第2章 -1. 学校教育 - 施策1 | 教育内容の充実 |
| 第5章 -2. 観光・交流 - 施策2 | 観光資源の活用・開発 |
| 第6章 -3. 国際交流 - 施策1 | 国際的な視野を持った人材の育成 |
| 構想推進のために -4. 広域連携 - 施策1 | 広域連携の推進 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|------------------|------------------------|
| ◎保育ニーズへの対応 | ◎医師の確保 |
| ◎多様な教育事業の推進 | (広域的見地からの病院相互の役割分担を含む) |
| ◎語学学習の充実 | ◎外国人観光客の誘致 |
| ◎戦略的な連携事業の実施(再掲) | |

②成田国際空港との共生を通じた地域の活性化

【関連する基本施策】

| | |
|-----------------------|---------------|
| 第3章 -2. 道路・交通環境 - 施策1 | 幹線道路の整備 |
| 第3章 -2. 道路・交通環境 - 施策3 | 公共交通機能の充実促進 |
| 第5章 -3. 商工業 - 施策4 | 企業立地の促進 |
| 第5章 -4. 産業活性化 - 施策1 | 新たな事業展開や起業の促進 |

【特に力を入れていく個別施策】

| | |
|--------------------|--------------------|
| ◎幹線道路の整備(国道・県道・町道) | ◎空港シャトルバスの運行 |
| ◎新たな公共交通の検討 | ◎町内産業に関する情報の発信(再掲) |
| ◎企業誘致の推進(再掲) | ◎空港への近接性など地域情報の発信 |

